

第17回 神奈川県移動性（モビリティ）向上委員会 議事要旨（案）

1. 日 時：平成29年7月25日（火）16：00～17：00
2. 場 所：横浜国道事務所 2階 会議室
3. 議 事：

（1）議題1：委員会の検討経緯と論点

- 事務局より委員会の検討経緯と本日の議題について説明した。

（2）議題2：渋滞対策の進捗状況確認

- 事務局より既存事業の開通（完了）状況について報告した。

（3）議題3：渋滞対策箇所の効果確認

- 事務局より渋滞対策箇所の効果確認について報告した。

（4）議題4：最新の交通状況による分析

- 事務局より主要渋滞箇所のモニタリング結果について報告した。

（5）議題5：主要渋滞箇所の見直し

- 事務局より主要渋滞箇所の見直し検討箇所について報告した。

【質疑・意見】

- 海老名ジャンクション周辺はH27頃まで渋滞が発生していたが、ジャンクションランプの2車線化を実施している。モニタリングしたデータは2車線化前の期間が含まれているため、モニタリングの継続は必要と思う。また、ヒアリングを行う際は当該事業の状況等も含めて実施してもらいたい。（中日本高速道路）
- 今後、継続的に対策後1年間のデータを整理し、モニタリングを実施する。ジャンクションランプの2車線化による効果についてヒアリング項目にしていきたい。（事務局）
- 解除候補の6箇所のうち4箇所は神奈川県管理の主要渋滞箇所であり、著しく渋滞が解消している印象はない。引き続きモニタリングする方針に賛同する。（神奈川県）
- 圏央道周辺の解除候補箇所6箇所について、個別にみると状況がさまざまであるため、今年度は解除を見送り、次年度以降もモニタリングを継続することとする。（委員長）

(6) 議題 6：優先検討箇所の検討状況

- ・ 事務局より優先検討箇所の検討状況について報告した。

【質疑・意見】

- ・ 面的な速度状況を整理することで、どのようなことを確認するのか。また、定量的な指標による確認は行わないのか。(委員長)
- ・ 対象箇所だけでなく、並行路線、従道路、細街路の状況を視覚的に確認する。(事務局)
- ・ 圏央道のような大規模な道路が開通した場合、並行路線から圏央道への転換、次いで細街路から並行路線への転換が生じ、結果的に細街路に渋滞解消の効果が現れることもあると思われる。交通量や事故の変化と併せて面的な速度状況をみて、効果を示していきたい。(横浜国道事務所)
- ・ 現地診断チェックリストについて、委員からの意見をいただき、事務局で再度調整することとする。(委員長)

(7) 議題 7：ピンポイント渋滞対策の検討

- ・ 事務局よりピンポイント渋滞対策に概要と対策イメージについて報告した。

【質疑・意見】

- ・ 対策案を検討する際は、車道幅員を 3.5m から 3.0m に縮小しても問題ないかを確認する必要がある。(委員長)
- ・ 対策を実施する際には、詳細な検討を進めて参りたい。(事務局)

(8) その他

- ・ 事務局より、トラック協会から提供された渋滞状況に関するアンケート結果について、取りまとめ次第改めて周知する旨を報告した。

以上